

第3次大井町地域福祉プランを策定しました

計画改定の概要

地域住民・地域団体・事業者・行政等が協働して、一層、地域福祉の推進に努めるために、情勢の変化に合わせて『大井町地域福祉プラン』改定します。

本計画は平成30年(2018年)度から2023年度までの6か年の計画です。

計画の基本的方向

地域福祉を推進していくためには、地域のあらゆる住民がそれぞれの役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の仕組みの構築が必要となってきます。

そこで、「**みんな大好き！あったかタウン・おおい**」を基本理念とし、地域福祉を担う人づくり、支えあいのきずなづくり、安心して暮らせるまちづくりの3つを基本目標に掲げ、お互い様の関係で支えあう**あたたかいまち**づくりを推進していきます。

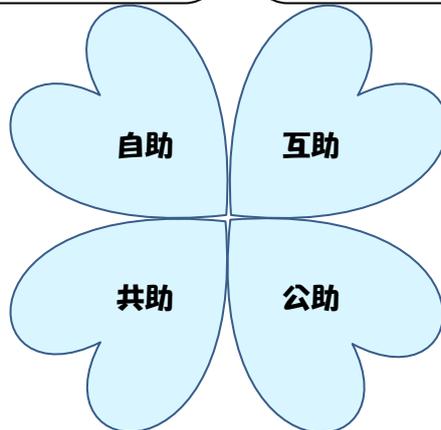
※計画の詳細は、町のホームページでご確認いただけます。

自助：町民一人ひとりができること

- あいさつや声かけを進んで行う
- 隣近所や自治会の付き合いを大切にする
- 趣味や体操などを行い、自らの健康づくりをする
- 行事等に参加し、いろいろな世代と交流する

互助：地域の人々でできること

- 見守りや居場所づくり
- お互いさまの精神を大切にし、互いに手助けする関係づくり
- 自治会を中心とした災害時の救助・支援活動
- ふくしの会など既存の活動の充実



共助：制度化されたみんなで助け合うしくみ

- 社会保険制度、介護保険制度など保険料などの負担によって、サービスを受けることができる制度の活用

公助：行政の責任として推進する公的な役割

- 公的福祉サービス
- 人材の育成、啓発活動
- バリアフリーを基本としたハード面の整備
- 情報提供、相談支援体制の充実

地域福祉とは、地域の人々がお互いに助け合う関係や仕組みをつくっていくことです。「自助」「互助」「共助」「公助」それぞれの役割を發揮し、連携してお互いに支え合う地域づくりを目指しましょう。

計画の具体的展開

基本理念「みんな大好き！あったかタウン・おい」実現のために、以下の施策を推進します。

